レッスン：13"A"

テーマ：絶対存在

ABSOL13A.DOC

兄弟・姉妹たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に神、絶対、神の聖性の中で抱かれています。

　　これまでのレッスンではLifeの現象、私たちが現実であると見なしているが実際は現実でないもの、実際には本当のセルフではない現在のパーソナリティーについて述べ、さらに私たちのために働いていて、私たちをケアしているある種のパワーについて述べてきました。神、人間の創造について述べ、人間がそれを神であると考えている絶対存在についても触れてきました。

　　しかしながら、神とか絶対存在という言葉を通じて、真実のリアリティーを包括的に認識することはできません。この点では、言葉と言葉の持つ意味は、非常に限られた働きしかしません。しかし、絶対存在についてある程度理解するために、私たちは利用できる唯一の道具を使わざるを得ないのです。利用できる唯一の道具とは論理と言葉です。ですから、私たちはそのような論理と言葉を使用して、Lifeの現象としての私たちの立場から見て理解した絶対存在の素晴らしい価値について説明しようとしているのです。しかし、再び繰り返しますが、得られた理解は、Lifeの現象である現在のパーソナリティーという意識のフィルターを通したものなのです。

　　絶対存在とは人間が神とみなしているものです。それはすべての原因であるものです。それは絶対意識としてのセルフ・エピグノーシスであり、そこには全てが存在し(Is)、放射と現れという力が内側から放たれています。絶対存在は絶対的現実（リアリティー）であり、それは人間の知性では理解不可能なものです。それは唯一の神であり、神は自らの絶対的自足の中において黙想し、それ自身を表現しているのです。それは多様性・多彩性を有するLifeそれ自体なのです。それは愛、調和である絶対的Lifeです。それは唯一の存在、唯一の三つ組であり、多様性を秘めたユニークな神なのです。

　　多様性を秘めた絶対存在は無数の聖なるモナドからできています。そしてさらに、ひとつの聖なるモナドは無数のSpirit being(スピリットとしての存在）を含んでいます。聖なるモナドとしてのSprit being（スピリットとしての存在）はそれ自身の微小な部分を、創造界、聖なるエバレスキアの世界に投射し表現しています。（＊エバレスキアとは黙想状態にある絶対存在、神が動き・波動・振動の状態を通じて、それ自身の中でそれ自身を現したもの）。　創造の諸世界においてそれ自身を表現するそれらの輝きは、ディバインのサポートと共にそれら自身のブレーシス（＊神の意志。完全なる肯定性という質を有し、否定性の要素は全くない）を通過し、イデアを通過します。

　　そのようなイデアのひとつが人間のイデアです。それはロゴス的下降であり、もう一つの下降は聖霊的な下降です。絶対存在の根本的な特徴は、聖なる自足です。それは自己充足と自己富裕（＊それ自身のみで自足・充足している、豊かな状態）という特徴を有する絶対存在の状態です。それはそれ自身の中に全てを有しています。不足しているものは何もなく、それ自身の外側には絶対的に何も存在していません。絶対存在はそれ自身のアウタルキー（自足）の中で完結しています。なぜなら、それが神の絶対的本質だからです。

　　絶対存在はLifeそれ自体です。それは絶対セルフ・エピグノーシスのステート（＊段階、状態）であり、それによってそれ自身の中にある全ては、表現も放射もされずにただそこに存在しているのです。他に動いているもの、振動しているものが何もなくても、そこには動き・波動・振動があるのです。もし絶対存在に聖なるアウタルキー（自足）という特徴しかないとしたら、神の聖なるエバレスキアの結果として創造界が表現されることは不可能だったでしょう。

Page2

絶対存在は、それ自身の中でそれ自身を表現することを喜んでいます。私たちがエバレスキアと呼ぶものは、絶対存在がそれ自身に向けた愛であり、絶対がそれ自身の内側においてそれ自身を表現することなのです。絶対存在がそれ自身の中で表現した結果が、私たちが聖なるエバレスキアと呼ぶものです。つまり、聖なるエバレスキアの結果、創造が起こり、絶対存在の現れがそれ自身の中に生じたのです。

　　聖なるエバレスキアの状態において、創造として、手段として、絶対存在はマインドを創造したのです。全てはマインドであり、マインドを通じて様々な波動のマインドが生じます。マインドは聖なるものですが、神ではありません。私たちは創造界において様々な波動のマインドに出会います。そしてそれらの波動のレベルと密度に応じて、様々な創造界が生じています。

　　マインドはスーパーサブスタンスであり、その波動の無限の海によって創造界の全ての王国が築かれるのです；全ての諸世界が造られるのです。エバレスキアの世界において、マインドなしで創造されるものは何もありません。しかし、先に述べたように、マインドは聖なるものであっても神ではありません。マインドは手段であり、それを通じて非顕現の絶対存在が様々な創造界に放射され、同時に、マインドは創造された世界に表現を与えるために使用されるサブスタンスでもあります。

　　絶対存在の本質と特徴は絶対英知・絶対パワー・絶対善なので、そのような三つ組として表現されています。これらの特徴は創造界において、パン・シンパンティック(＊Pan-Sympantic、英辞書にない言葉なのでギリシャ語？)あるいは汎宇宙的ロゴス、そして聖霊として表現されています。絶対存在のロゴス的部分は、人間においてはセルフ・エピグノーシスを表現することができる質として現れています。

　　人間は聖なるモナドですが、聖なるモナドと言ってももう少し特定する必要があります。無数にある聖なるモナドの中でも、Holy Monad Spirit Being\*(聖なるモナドであるスピリット存在）なのです。再び繰り返しますが、無数の聖なるモナドが私たちが神と呼ぶ絶対存在を構成しています。絶対存在は聖なるモナドから構成されており、それらの聖なるモナドによって多様性を有しています。その多様な表現の中の一つが「聖なるモナドであるスピリット存在」

であり、人間のイデアを通過して輝きを放射しています。

　聖なるモナドとしてのSpirit Beingには形がありません。それはただ存在するのみです。しかし、「それ」とは何でしょうか？今の段階では、私たちはそれが何であるかをマインドの中に形成した思考によって理解するしかありません。思考を越えたレベルのもので私たちが知るものは全て、マインドを通じたインナーセルフの放射と集中という現象を通じて認識されたものです。

　　特定の状況を学ぶには知識が必要であり、この知識はLifeの現象の特徴である時間・空間という制限を受けています。繰り返しになりますが、意識の同調による知識であっても、思考・行動として人間は自分の意識というフィルターを通しているのです。私たちの聖なるモナドとしてのセルフ(Holy Monad Self)は何も知る必要がないのです。なぜなら、それは絶対存在のアウタルキー（自足）の中にあるからです。そして前に述べたように、アウタルキーという言葉には何も知る必要がないという意味があります。なぜなら、全ては内側にあるので、それは全てを知っているからです。その本質は絶対英知・絶対パワー・絶対善なので、それは全てを知っているのです。

　聖なるモナドは時間・空間という状況に基づく思考、形を通じて認識することはできません。思考や形は想念というマインドを通じて達成できるものです。聖なるモナドであるSpirit Beingとしての私たちは、神の本質と何ら異なる点はありません。なぜなら、私たちは神以外の何ものでもないからです。神と私たちとの違いは、質的違いというより量的な違いです。

　　人間のイデアを通じて来る輝きには、そのサークル（円）を完了するという特別な目的があり、そのためには特定の順序を経なければならないのです。サークルを完了する目的とは、いわゆるオントピーシス（＊ロゴスの降下を通じて個別性を獲得した後に、再びオリジンである源に帰ること）を得ることです。しかしながら、この目的を実現するには、この微小な放射はLifeの現象の中に入ることによって制限を受けるようになります。しかし、それは私たちがセルフ・エピグノーシスと呼ぶ質によって助けられます。

　　人間はセルフ・エピグノーシスの能力を現し、それによって自分自身の「I」(私）と自分以外の人々の「I」を区別できる可能性が人間に与えられるのです。例えば、「私は私である」(I am I)。セルフ・エピグノーシスは能力であり、人間に他とは異なった個人性を創造し、自己知（自分を知ること）に向けて絶えず前進する可能性を付与します。

Page3

　　絶対存在はキリストロゴスと聖霊を通じて、エバレスキアの世界の中でそれ自身を表現し、キリストロゴスと聖霊は様々な波動においてマインドを使用し、絶対存在の二つの手という役目を果します。

　　聖霊は創造的現れであり、絶対存在の創造的局面です。創造の可能性を提供し、聖霊を通じて様々なレベルの創造界が築かれるのです。ロゴス的現れとしての人間のイデアは同時に聖霊的現れでもあり、あらゆるアークエンジェル（大天使）のオーダー（グループ、組織）の意識を表現することができます。Lifeの現象の中において、ロゴス的現れと聖霊的現れが同時に働いていますが、創造界で達成されている働きによって両者を識別することは可能です。

　　ロゴス的現れは私たちにセルフエピグノシスを与えますが、そのセルフエピグノシスには現れとしての多重性があります…単なる人間としてセルフエピグノシスから超意識的アークエンジェル的レベルとしての人間の現れ、そしてさらに魂のセルフエピグノシスという高みまであります。

　　絶対存在のロゴス的現れとして、パンシンパンティック・ロゴス（＊汎宇宙的ロゴス）とキリストロゴスがあります。絶対存在のダイナミックな現れとして、私たちには人間の知覚を越えた意識の表現である聖霊もあります。従って人間はロゴス的現れでもあり聖霊的現れでもあるのです。絶対存在のこれら二つの現れを区別する簡単な方法は、人間と動物の違いを見てみることです。人間の諸体は純粋に聖霊的現れですが、人間の現れは同時にロゴス的であり聖霊的なのです。動物は聖霊的な現れだけです。なぜなら、セルフ・エピグノーシス（＊私という意識）の質を有するロゴス的現れが動物にはないからです。

　　繰り返しますが、絶対存在はそれのみで満ち足りている自足という特徴を有し、絶対Lifeであり、非顕現であり、時間・空間的意味や人間の理解を越えた存在です。さて、人間としての私たちは何なのでしょうか？私たちはLifeなのでしょうか、それともLifeの現象なのでしょうか？実存する人間としての私たちはLifeの現象であり、生きている有機物として、体として、現在のパーソナリティーの現れとして、私たちはLifeの現れです。私たちの肉体は、それが聖霊によって築かれたものであるにもかかわらず、ロゴス的現れなのです。換言すれば、それはロゴス的セルフ・エピグノーシスの現れなのです。

　　私たちの肉体は聖霊によって築かれていますが、私たちの「I」（私）または「I am I」は、それが本能的意識、意識的あるいは超意識的意識であろうと、その意識レベルにかかわりなくロゴス的なのです。ロゴス的存在として、私たち人間には自分自身を論理的に表現する能力が備わっています。

　　実際、人間には私たちがマインドと呼んでいるスーパーサブスタンスを使用する能力があり、そのスーパーサブスタンスを使用して想念、感情を形成しています。

私たちのインナーセルフはLifeそれ自体であり、聖なるモナドであるSpirit Beingとしての人間は絶対存在と同じなのです。人間が自分自身を聖なるセルフの中で放射するとき、人間はLifeそれ自体なのです。人間のLifeはそれ以外のものから発しているのではありません。私たち人間は、自分自身の外側のどこかにある源から甦ってきているのではありません。

　　人間には現在のパーソナリティーとして肉体、サイキカル体、ノエティカル体という３つの体が備わっていますが、それらの体は創造されたものであり、それ故それらの諸体は活気づけられたり、甦ることができるのです。

しかし、魂のセルフ・エピグノーシスとして、聖なるモナドとしては、私たちはただ存在するのです。私たちはLifeそれ自体なのです。ですから、Lifeは絶対存在なのです。それは絶対的リアリティーであり真理なのです。

このリアリティーの本質は、それが表現される量の多少にかかわらず常に保たれています。なぜなら、質的にはそれは不変だからです。この事実は様々な種類の水に例えることができます。水は非常に多種多様な所から来ているように見えても、その構成は常に同じです。

　　ですから、人間に関しては、絶対存在はそれ自身の中でそれ自身をキリスト・ロゴスおよび聖霊として現しています。キリスト・ロゴスと聖霊は、絶対英知・絶対パワー、絶対善を通じて創造するために、マインドを使用します。あらゆるものはマインドであり、マインドを*通じて*マインドの様々な波動が生じていますが、マインド*の*ではないのです。

　　絶対存在は絶対的アウタルキーであり、Lifeであり、真理なのです。それは絶対リアリティーです。人間の聖なるモナドとしてのセルフは何よりもLifeであり、インナーセルフとしてはLifeでありアウタルキーです。なぜなら、インナーセルフとしてそれはアウタルキーを備えているからです。絶対存在は、私たちが三つ組と理解している仕方でそれ自身を表現しており、それ自身を絶対英知・絶対パワー・絶対善を通じて現しています。それらは絶対存在の本質です。

Page4

　　私たちは絶対愛という想像しがたいものを説明、評価しようと試みたことを良くわかっています。人間はLifeの現象の中にいる時には、相対的真理のみを体験し、この絶対リアリティーの本当の真理を体験することはありません。

私たちは常に神、絶対、神の聖性の中にいます。

13A/4 終わり

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

エクササイズ・シリーズ"A" …２A

　エクササイズ2Aは、あなたの現在のパーソナリティーを構成している３つの太陽にエネルギーを与える上で役立ちます。

エクササイズ　2A…３つの太陽

　　椅子に楽に腰掛けます。心を落ち着かせ、全ての問題から心を開放します。あなたにもっとも快適なリズムで「アガピ」という言葉を心の中で繰り返します。アガピ…アガピ…と続けます。アガピという言葉を心の中で繰り返しているうちに、心と身体が次第にリラックスしてきます。アガピ…アガピ…この言葉だけが心の中に存在します。

　　アガピ…アガピ…と繰り返すたびに、あなたは神のアガピの中に深く、深く入っていき、次第に心の深い静けさの中に入ります。もはや静けさだけがあり、それ以外のものは心の中にありません。あなた自身が白くなっていくのをイメージします。白い輝きで包まれています…快適な深い呼吸を続けます。息を吸うたびにあなたはもっともっと白く輝き、息を吐くたびにあらゆる問題、トラブルを吐きだします…真っ白に輝くあなた自身の汚点となるもの全てを息と共に吐きだします。深くて快適な呼吸を続けます…今やあなたは純白に輝く光の中にいます。

　　背骨の中心線において、現在のパーソナリティーを構成している別々の色をした３つの太陽にエネルギーを与えます。

太陽神経叢からホワイトブルー（＊淡い水色）の光が輝いています…それは意識のセンターであり、太陽のようにあらゆる方向に光を放っています。

　　肉体の心臓の位置にあるエーテル体のハートからはホワイトピンク（薄いピンク）の光が輝いています…意識とセルフ・エピグノーシスの両方のセンターであるそこから、太陽のようにあらゆる方向に光りが放たれています。　　あなたの頭のセンターからは金色の光が輝いています…それはセルフ・エピグノーシスのセンターであり、太陽のようにあらゆる方向に光りが発せられています。

　　それぞれの色の光を全方向に放っているこれら３つの太陽をイメージします…それらはあなたから遠く離れた距離にまで光を放っています…それぞれの色の光は他の光の中に入りますが、光が互いに邪魔されることはなく、それぞれの光を放って輝いています。３つの輝く太陽はあなたから遠く離れた所までそれぞれの光を放っていますが…あなた自身は純白に輝いています。あなたはこれら３つの輝きのスポットとなっています…しかも、あなたはこれら３つの輝きの源であり…これら３つの輝きを創造する中心なのです。

　Lifeの現象が現れているあらゆる波動において、あなたは健康と愛を放射しています。あなたは健康を放射しています。この健康の輝きがあなたから放たれているのを感じてください。Lifeの現象が現れている全ての次元に存在する同胞としての人間の健康を願います。再びあなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

　　アガピ…アガピ…という言葉の繰り返しに戻ります。あなたは主の中にあり、主はあなたの中にいます。

あなたは常に神、絶対、神の聖性の中にいます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

エクササイズ・シリーズA…3A

（エクササイズ3Aは、刻印エーテルを使用して、あなたの３つの体とそれぞれのダブルエーテルの健康を促進するためのものです。このエクササイズは、３つの太陽を自動的にイメージできるようになるまでは、エクササイズ２に続けて行ってください。）

　　純白の輝きの中にいる自分自身をイメージして見ます…背骨の３つのポイントから３つの太陽が輝いていて…あなたは白い輝きの中にいます…３つの太陽は遠くまであらゆる方向に輝く色を放っていますが、それら３つの色が混じりあうことはありません。

　３つの各太陽の光から、真っ白な肉体と同じ形をした３つの体を形作ります。

あなたには肉体と同じ形のホワイトブルーの体があり、それはあなたの肉体の健康とあなたの肉体を現しています。

　あなたには同じ形のホワイトピンクの体があり、それはサイキカル体の健康とサイキカル体を現しています。

　　あなたにはもう一つ、同じ形の金色の体があり、それはノエティカル体の健康とノエティカル体を現しています。

　　肉体と同じ形をした３つの体と、それぞれのダブルエーテルは、現在のパーソナリティー全体を現しています。

　　あなたはエーテル体を一つの輝きとして見ていますが、実際にはそれらは３つのダブルエーテルなのです。３つの体それぞれにエーテルダブルがあり、全部で６つの体があります。それぞれのエーテルダブルを伴った３つの体が、お互いの中にありますが、色が混ざってしまうことはありません。

　これら３つの体はあなたの現在のパーソナリティーであり、時間・空間内のパーソナリティーです。私たちはそれを永遠のパーソナリティーと思っていますが、本当は違います。

　　それは現在の時間・空間のパーソナリティーであり、あなたの常に変化しているセルフであり、Lifeの現象内のセルフなのです。それは無知の中で生き、現れているセルフです。

　　それぞれのエーテルダブルを伴うあなたの３つの体の健康を願います。

あなたの現在のパーソナリティーの健康を願い…３つの体の間の調和を願い…静けさと穏やかさを願い…思考という神の贈り物を正しく使用することを願います。

私たちは神、絶対、神の聖性の中にいます。

EREVNA/EXERCISE SERIES “3A”